

令和元年度 第2回 ファシリティマネジメント (FM) 研究部会

自治体等FM連絡会議千葉県地域会 (要録)

日時	令和2年1月31日 (金) 午前2時00分～午後5時00分
場所	千葉市美浜区役所 4階 講堂 (千葉市美浜区真砂5-15-1)
出席者	<p>【部会員】 千葉県、千葉市、船橋市、木更津市、松戸市、成田市、旭市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、勝浦市、佐倉市 (24自治体50名)</p> <p>【その他】 横須賀市 (3名) 関東財務局千葉財務事務所 (2名) 一般財団法人建築保全センター (1名)</p>
内容	<p>事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「D o (実践) から始めるファシリティマネジメント」 茨城県 常総市 総務部 資産管理課 施設マネジメント係 係長 堀井 喜良 氏 ・「千葉市における学校跡施設活用と施設の再配置」 千葉市 財政局 資産経営部 資産経営課 主査 遠藤 貢 氏 <p>施設見学 真砂コミュニティセンター (学校跡施設活用事例)</p>

1 開会

- ・部会長挨拶
 佐倉市 資産管理経営室 室長 小菅 慶太
- ・会場自治体挨拶
 千葉市 資産経営課 課長 秋幡 氏

2 事例発表

- ①「D o (実践) から始めるファシリティマネジメント」
 茨城県 常総市 総務部 資産管理課
 施設マネジメント係 係長 堀井 喜良 氏
- ・地方自治法にて求められている「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを目的にして、FMとPPPの取組を行っている。
- ・常総市ではP l a n (計画) からではなく、まずD o (実践) していただくことか

ら始めている。

- ・対話によるPPPの実践に取り組んでおり、サウンディング型市場調査に力を入れている。
- ・サウンディング調査を行うに当たっては、民間事業者積極的に営業をして参加してもらうこと、民間事業者と対等な立場で対話すること、調査だけで終わらせず事業に反映させることが大事。
- ・「あすなろの里」の利活用に向けたサウンディング調査を行ったところ、施設を実際に使用してみたいとの意見があり、公共R不動産が出した書籍に掲載されていた「トライアル・サウンディング」の手法が使えるようであったため、事業化に乗り出し、約1か月でスピード感を持って実現させた。
- ・トライアル・サウンディングは、行政財産目的外使用許可を活用し、その使用料を免除する仕組みで実施した。
- ・トライアル・サウンディングは、本格利用に向けたプロセスであり、イベントの実施だけで満足しないように気を付けなければならない。

②「千葉市における学校跡施設活用と施設の再配置」

千葉市 財政局 資産経営部 資産経営課 主査 遠藤 貢 氏

- ・千葉市では小中学校の統廃合が進められており、15校が統廃合により学校跡地施設となった。
- ・15校の内、6校を跡地活用することとなった。(それ以外の4校は売却・貸付・返還又は検討中)
- ・学校跡地施設活用に当たっては、施設単体で見のではなく、そのエリアの特性を踏まえた一体的な検討を行い、人口・世代構成や、周辺地域の施設の状況、地元住民の要望等を総合的に勘案し、跡地利用方法を検討する。財政状況を踏まえ、余剰となる施設については、資産の処分等を行う。
- ・千葉市では、学校跡地施設を、コミュニティセンターや障害福祉サービス事業所、特別支援学校、スポーツ広場などにして活用している。
- ・学校であった時には設置義務のなかった防火ガラスやスプリンクラーの設置が必要となるなど、建物の用途の変更により各種法令の適用が変わるので、それに対応した工事が必要になる。
- ・学校跡地活用の先進事例としては、富山県氷見市役所や鋸南町の保田小学校がある。
- ・本庁舎建て替えや区役所の移転等に伴い、施設の集約化や移転等を実施中である。

3 閉会

- ・自治体等FM連絡会議 千葉県地域会 代表幹事挨拶
流山市 総務部 財産活用課
ファシリティマネジメント推進室 室長 井上 雅之 氏

4 施設見学

- ・真砂コミュニティセンター（美浜区真砂2丁目3番1号）
旧真砂第一小学校跡施設の活用事例の紹介